



広重版画より 三島 朝霧

第2360回例会

2023.8.3晴

司会

南木一仁君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」  
指揮 小塚英樹君

会長挨拶

会長 平出利之君

7月28日(金)～8月2日(水)の6日間、アメリカパサディナ市の中学生・高校生9人が三島でホームステイをしました。これは三島市国際交流協会のフレンドシップという事業で、今回18回目になります。コロナが蔓延する前までは、アメリカ・中国・日本の学生が三島市の箱根の里に集まり、それぞれの学生が4つか5つのグループに分かれて夕食の支度をして、一緒に食事をし、それからキャンプファイヤーを囲んで歌を歌って交流をしていました。今回はパサディナと日本の学生との交流になり、一緒に行動しました。学生達はホームステイをしながら、沼津狩野川の花火の見学・富士山世界遺産センター・富士山宝永山ハイキングコース・しゃぎりの体験などをして、帰りました。パサディナ市はロサンゼルスベッドタウンと呼ばれている所で、湿度が低いので日本の蒸し暑さは厳しいようでした。三島市国際交流協会の重要な事業は、学生達が海外の学生と交流する事ですので、パサディナ市から来てくれた事には、感謝しております。台湾の学生が日本に来る事と同じであります。来年はパサディナ市に行くようになりそうです。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 和田由貴美さん

(関本(文)・木村・前田(房)・仲田君のゲスト)

増田厚子さん

(前田(房)・平出・梶山・須田君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	37/45	82.22%	38/45	83.33%
今回	40/48	83.33%	会員総数	52名

欠席者 秋山君、栗原(康)君、諏訪部(照)君、千葉君、野田君、藤江君、森藤君、横溝君

おめでとう

入会記念日 古屋君、町野君、西川君、原君

幹事報告

幹事 赤池克斗君

- ①本日の例会は会員増強維持委員会 木村委員長の卓話です。
- ②次回例会は8月10日(木)18:30呉竹 ガバナー公式訪問です。
- ③地区大会が10月14日15日です。各委員長、入会3年未満の新会員の方はよろしくお願ひします。
- ④酒田東RC遠征(ゴルフ同好会)の際、50周年記念式典来訪の御礼品(お土産)を用意いたします。
- ⑤職業分類について遠藤前ガバナー補佐よりお話をいただきます。
- ⑥古着deワクチンのご協力ありがとうございました。
- ⑦苗栗周年記念の日程について、花房国際奉仕委員長より報告いただきます。

## スマイルボックス

- ◆ 遠藤(眞)君、白内障の手術、両目無事終了しました。
- ◆ 室伏君、尿管結石と便秘とコロナの三重苦でした。三週間ぶりに髭顔で人前に出ました。
- ◆ Fテーブル、7月31日にFテーブル会を開催しました。7人と会長幹事に参加いただきました。スマイルします。
- ◆ ゴルフ同好会、花房年度 取切り戦を7月16日(日)富嶽カントリークラブにて開催しました。優勝 平出さん、準優勝 鈴木正二さん、3位 花房さんでした。次回は第1回遠征ゴルフで、9月11日(日)山形県の湯の浜ゴルフ倶楽部にて開催します。



## 卓 話

### 国際ロータリー第2620地区会員増強セミナー報告

会員増強維持委員長 木村安紀夫君

参加者 平出会長 木村安紀夫

日時:2023年7月29日(土)13:00開会点鐘

中村皇積ガバナー挨拶

・地域の特性とニーズに合うクラブ作りを目指す・今回のセミナーで何か一つアイデアを土産に持って帰って頂きたい

アドバイザー 小林聡一郎・パストガバナー挨拶

・トレーニングからラーニング・自分一人では出来ない、会員の力を借りる・入会適齢期の人に入って頂き次の世代を担う流れを作って頂きたい・クラブ風土を変えるその事のきっかけにしたい

会員増強委員長 石井幸弘(伊東RC) 挨拶

・感動の入会式の中村ガバナー出席を依頼して頂きたい・増強月間に増強委員長を呼んでほしい・3年未満の会員を集めてロータリー塾を開催したい・今年にはコロナ前の会員数3001名を達成目標したい

(1)講師 パストガバナー安間みち子

演題 世界に希望を生み出そう Rotary Now

・1905年2月25日ポールハリスが第一回目の例会を4人で行ったビジョン声明を大事にする・エンドポリオあと6人、会員増強地域での社会奉仕はお金を出すだけでなく、一緒に行動する・メイキャップや新会員への接し方を考える・ジェニファージョーンズさんは退会者を減らす努力をする事が大事・国際ロータリーのアンケート調査から81%が友人・知人の紹介で入会のきっかけを得た・同じアンケートでロータリアンの満足度を調査 2017年94%満足→2021年87%

・ロータリアンが2022年に21%が退会を検討

- 1 個人的な事情 2 費用がゆかり過ぎ
- 3 活動に価値を見出せない 4 時間の余裕が無い
- 5 クラブの地域社会への貢献度が少ない
- 6 クラブに溶け込めない

・行動しよう DEIを受け入れる

1 会員としての経験を優先させる

2 多様性 あらゆる背景、文化、経験、アイデンティティを持つ人々を歓迎する

3 公平さ 一人一人が成功するために必要なリソース、機会、ネットワーク、サポートを利用できるようにする

4 インクルージョン 自分が大切にされていると全ての人が感じ、帰属意識を持てるような文化を作る

・クラブ活動の改善

1 クラブ例会を改善する ゲストスピーカーの多様性 時間や場所の多様性

2 地域社会プロジェクトを増やす

奉仕プロジェクトにロータリアンが参加、多くの様々な人に参加してもらう

3 クラブでの活動に若いメンバーの意見をもっと取り入れる

(2)中村ガバナーと安間みち子対談 エンジョイロータリー

安間さんが会長になった時の標語 経験が楽しさを生む

初めて会った人との結びつき、退会するまでの長い付き合いができる 中村ガバナーがクラブ訪問した印象 年配の会員が率先して旗を振る 会員減少についてクラブ全体で徹底的に話合った結果スッキリした 会員増強に繋がった

新会員はロータリーを客観的に見れる 会長エレクトを会員増強社会奉仕理事委員長に起用する事で会員増強に繋がった

場合によって入会金を優遇、親子会員を積極的に勧誘する

(3)グループ別会議参加 74グループ 178名 参加

同じようなグループ別に8グループに分かれ1時間程度グループミーティングを行った。私たちのグループはまず特色を述べ

、10年前と現在の比較を行い、参加者全員がスピーチ。まとめとして私たちのグループは10年前と会員の大幅な減少は無く、入れ替わりはあるものの現状維持が出来ていると思われる

コロナ禍のあと、若手の会員が増え、特に女性会員の入会を期待するクラブが多い。グループLINEを活用、理事会の運営の合理化、スピード化に貢献

(4)アドバイザー講評 パストガバナー小林聡一郎

結局は各々のクラブはどうだろう、ロータリーは今どういう事を考えているのだろう。一人一人がその事をどう咀嚼するか、何か気づいた点があったかという事が一番大事。増強については口コミが有効、安間さんのアンケートにも如実に現れていました。グループミーティングにつきまちは恵まれたグループと

20人以下のグループでは増強というテーマについて全く切実感が違うと思います その立場を踏み越え、これからクラブに帰って行動を起こす切っ掛けにして頂きたい

(5)セミナーを受けての感想

3時間半にわたるセミナーを受講し、維持増強の大切さを改めて感じました。西クラブは幸い会員数、会員の若返りという点でも恵まれていると思います。各クラブとも社会奉仕活動を再開させております。この研修を通じて会員維持増強の大切さを感じるとともに10年スパンでのクラブのあり方を考えて行く

必要性を感じました。ロータリーの存在意義を地域の方々に広めて、賛同する方々を新会員として迎えるためには、会員相互の情報を共有し、今季は皆様の協力の元に足で稼ぐ委員会活動を行って行きたいと思っております。

(週報担当:町野 暉)